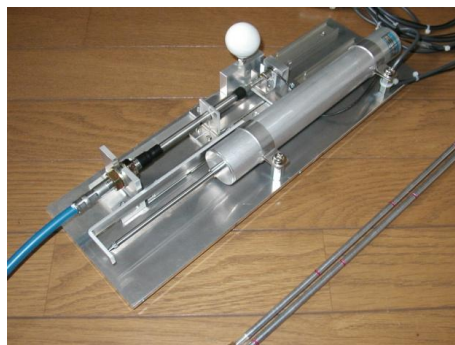
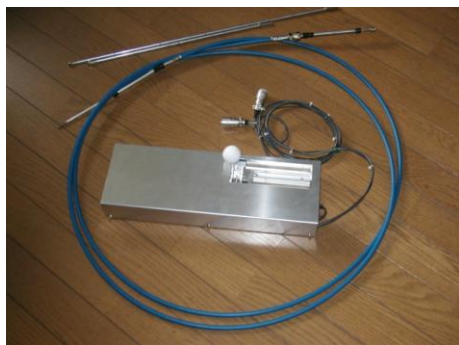


ルーメン内貫入抵抗測定装置 SRH型

本装置は牛のルーメン内(第一胃)採食物の層別の硬さを測定するものです。ルーメン内に貫入するロッドを特殊なケーブル(プッシュプルケーブル)で遠隔操作(力と変位を伝達)し、採食物のロッド貫入時の抵抗荷重と貫入量をパソコンにリアルタイムで表示・データ収録することができます。

(※ 本システムは、酪農学園大学付属農場 泉 賢一先生ご協力の下に開発されたものです)



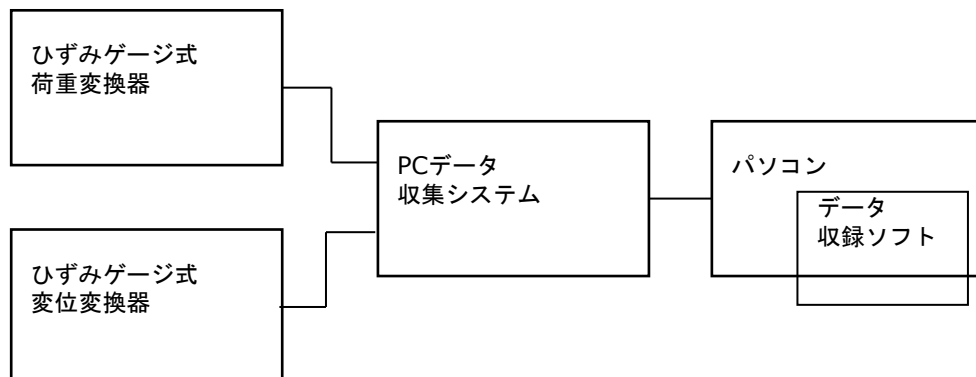
ルーメン内貫入ロッドとプッシュプルケーブル貫入装置 (ハンドル貫入部は未表示)

貫入装置とルーメン内貫入ロッド (ハンドル貫入部は非表示)



貫入試験実施風景

■測定システムブロック図



システムの概要

貫入装置	貫入抵抗センサ：超小型ひずみゲージ式荷重変換器 貫入量センサ：ひずみゲージ式変位変換器
測定範囲	貫入量：1ストローク100mm 貫入抵抗：最大50N (5.099Kg)
荷重変位伝達貫入部	6m ストローク：100mm 貫入ロッド：アルミ製 L=1000mm
オプション	PCデータ集録装置 パソコン

※改良のため仕様・形状など変更になる場合があります。

■測定システムブロック図

